

【大学・地域共創プラットフォーム香川】

令和5年度第2回総会 議事要旨

開催日時：令和6年3月27日（水）10：30～11：30

開催場所：香川大学幸町北キャンパス 大学本部4階大会議室

出席構成員：香川大学 上田 夏生、四国学院大学 末吉 高明、香川県商工会議所連合会

綾田 裕次郎、高松市 加藤 昭彦（代理）、香川県立保健医療大学 井伊 久美子、徳島文理大学 田村 禎通、高松大学・高松短期大学 佃 昌道、香川短期大学 加野 芳正、せとうち観光専門職短期大学 青木 義英、香川高等専門学校 小島 隆史（代理）、香川県商工会連合会 宮武 卓朗（代理）、香川県中小企業団体中央会 岡 興司（代理）、香川経済同友会 佐藤 哲也、香川県中小企業家同友会 林 哲也、香川県銀行協会 綾田 裕次郎、香川県 池田 豊人、丸亀市 松永 恭二、坂出市 浦田 俊一（代理）、善通寺市 辻村 修、観音寺市 黒川 順司（代理）、さぬき市 向井 健二（代理）、東かがわ市 上村 一郎、三豊市 山下 昭史、土庄町 岡野 能之、小豆島町 谷本 静香（代理）、三木町 伊藤 良春、直島町 田中 正平（代理）、宇多津町 吉田 未散（代理）、綾川町 前田 武俊、琴平町 森本 卓也（代理）、多度津町 岡部 登（代理）、まんのう町 河野 正法（代理）

(33/35 構成員出席)

議 題

1. 令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について（資料1-1、1-2、1-3）

令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について、資料1-1～1-3に基づき、事務局、各部会長及び香川県から説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

（意見等）

- ・学生に対する引き留める方策と同時に、長く香川県に貢献してもらえるように、社会人に対するキャリアアップの方策を検討する必要があると思う。
- ・高校生になると都会や世界に出たいとかこういう仕事をしたいということが決まって来ている段階である。香川県に残りたいと思ってもらえるように、また、香川県を盛り上げていこうと思ってもらえるように、小中学生や保護者に対する教育により、香川県に対するシビックプライドを醸成していく必要があるのではないかと思う。
- ・「共育型インターンシップ」に参加した生徒にアンケートを行ったのだが、「香川県に帰ってきても良いと思いますか」という項目では、78%もの生徒から「香川県に帰ってきたいと思う・少し思う」との回答があり、意味がある活動であることが実証された。若者に県内企業の魅力を知ってもらえるような取組みを強化していきたい。
- ・「地元中小企業魅力発見ツアー」については、単なる企業の見学で終わるのではなく、中小企業への就職に気持ちが入るように、また、中小企業で働いている社員との交流が図れるようにしてもらいたい。
- ・「高大連携キャリアデザイン研修」のように、保護者を対象としたものは大事だと考えている。県内企業について保護者に知ってもらうことも必要なのではないか。

2. 副会長及び監事の選任について（資料2）

副会長及び監事の選任について、資料2に基づき、会長から説明があり、審議の結果、原

案どおり了承された。

報 告

1. 令和5年度事業の実施状況について（資料3-1、3-2）
令和5年度事業の実施状況について、資料3-1、3-2に基づき、事務局及び各部会長から報告があった。
（意見等）
 - ・近年、「新規学卒一括採用」が壊れてきており、中途採用に力を入れている企業が増えて
いる。プラットフォーム事業では新規学卒者の県内就職支援が多いが、多様な人材確保
という観点から事業を検討した方が良いのではないか。
2. 令和5年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金について
（資料4-1、4-2）
令和5年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金につい
て、資料4-1及び資料4-2に基づき、事務局から報告があった。
3. 私立大学等改革総合支援事業及び中長期計画への対応について（資料5）
私立大学等改革総合支援事業及び中長期計画への対応について、資料5に基づき、進学・
教育部会長より報告があった。
4. 部会幹事及び副幹事について（資料6）
部会幹事及び副幹事について、資料6に基づき、事務局より報告があった。
5. 令和5年度名義使用の許諾について（資料7）
令和5年度名義使用の許諾について、資料7に基づき、事務局から報告があった。
6. その他 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業について（資料8）
地域中核・特色ある研究大学強化促進事業について、資料8に基づき、事務局長より報告
があった。